

ゆめ・まち・みらい vol.25

阪急阪神ホールディングスグループ社会貢献活動

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」グループ従業員向け情報誌 [2015年春号(年4回発行)]



ぜひご家庭でもお読みください

「ステナイ生活」で、 すてきなギフトを。

- ソーシャルトレンド「ステナイ生活」、始めませんか?
- ゆめ・まち古本チャリティ
- グループ従業員のボランティア活動レポート
- 阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 助成対象団体レポート



ソーシャルグッズ
読者プレゼント



阪急阪神ホールディングス グループ

こちら事務局

皆さまの募金のお届け先が決まりました!
「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第6回助成先

皆さまの募金に会社が同額を上乗せして、市民団体を助成するゆめ・まち基金。2014年度は99団体から申請があり、書類選考・基金参加者アンケートの結果をふまえ、本選考会で助成先となる10団体を決定しました。

- | | | |
|-------------------|--------------------------|----------------------------|
| 地域環境づくり
次世代の育成 | ① (特非) とも環境活動支援協会 | 環境保全型農業等の持続可能な地域社会づくり |
| | ② (特非) 豊島北ビオトープクラブ | 市民が自然に親しめるビオトープづくり |
| | ③ 長岡京竹あそび連絡協議会 | 放置竹林問題の啓発と、竹を使ったまちおこし |
| | ④ ボランティアグループ「ゆりの会」 | 阪神淡路大震災の地すべり跡地の緑化活動 |
| | ⑤ (特非) 豊かな森川海を育てる会 | 森・川・海・まちを一体と捉えた自然再生活動と環境教育 |
| | ⑥ (認定特非) 大阪自然史センター | 子どもが自然と親しむ自然科学教育の提供 |
| | ⑦ 大阪YWCA 点字子ども図書室 | 児童書の点字訳と点字児童書の全国無料貸出し |
| | ⑧ (特非) キンダーフィルムフェスト・きょうと | 子どものための映画祭の開催やメディア教育 |
| | ⑨ (特非) チャイルド・リソース・センター | 児童虐待再発防止のための家族再統合支援 |
| | ⑩ (特非) DXP(ディーピー) | 通信制高校生の自己肯定感を育むキャリア支援 |
- ※「特非」は「特定非営利活動法人」を指します。

社会貢献活動にポイント付与。
ポイントを社会貢献につながるメニューに交換
ポイントがつながる社会貢献の輪:「社会貢献ポイント制度」

グループ従業員やOBの皆さまの、地域・社会への貢献活動を応援する「社会貢献ポイント制度」。2014年もたくさんのご申請をいただきありがとうございました!

参加会社 62社(前年比 +9社)
会員数 1,597人(前年比 +282人)
ポイント付与数 11,296ポイント(前年比 +1,672ポイント)
ポイント交換数 4,870ポイント(前年比 △1,133ポイント)
※内訳:市民団体への寄付2,232ポイント、六甲山に植樹する苗木658ポイント、フェアトレード商品への交換1,980ポイント

六甲山への植樹本数 15本
※六甲砂防事務所への寄贈(治山計画に基づく植樹計画への提供)

<ポイント交換のお知らせ>ポイント制度会員の皆さまに、4月下旬頃にポイント残高通知書をお届けします。皆さまが貯めたポイントは1ポイント10円相当で、フェアトレード商品や、市民団体への寄付などに交換可能。ご希望の方は、通知書をご覧のうえ、5月22日(金)までにご申請ください。

皆さまの真心を被災地の子ども達へお届けしました
《ご報告》書き損じハガキ回収結果
過去最高の62社204拠点!

ハガキの回収にご協力いただいた従業員の皆さま、回収箱の設置や従業員への周知にご協力いただいた各社担当者の皆さま、ありがとうございました。

あしなが育英会への寄付 130,018円 相当
(回収枚数:ハガキ2,603枚、未使用切手14枚)
東日本大震災で親を亡くした子ども達への支援に役立てられます。



阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)
shakai@hankyu-hanshin.co.jp
TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174
URL: http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/
※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。

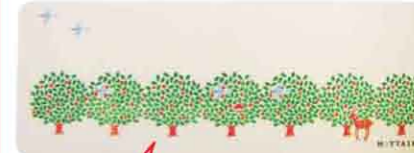


ソーシャルグッズ
読者プレゼント

5名様
に
プレゼント



洗えるキッチンマット
糸くずを再利用した
キュートなキッチンマット



売上げの一部は、アフリカでの植林活動「グリーンベルト運動」に寄付されます。

「もったいない」を3R(Reduce・Reuse・Recycle)+R(地球資源へのRespect)ととらえ、それをコンセプトにした商品を紹介・販売するMOTTAINAI Shopのキッチンマット。ワイシャツなどの製造過程で出る糸くずを集めて縫製できるよう再加工した糸でつくられています。さらりと気持ち良い肌ざわりで、洗濯をくり返しても丈夫で長持ち。毎日使うものだから、環境問題がもっと身近になりますね。

サイズ/45×120cm
価格/1,296円(税込)
商品ウェブサイト/「MOTTAINAI Shop」
http://mottainai-shop.jp/

ご希望の方は下記事務局までメールでお申込みください。メール件名を「キッチンマットプレゼント希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切:2015年4月30日(木)

編集後記

社会貢献を「知る」のも、大事な取り組み。HP掲載中の「ロハス度チェックシート」にぜひご参加!六甲山への植樹にもつながります(20名の参加ごとに苗木を1本寄贈)。(臼杵有紀奈)



特集記事の「ステナイ生活」は気軽に参加できる社会貢献活動です。ゆめ・まち古本チャリティでステナイ生活の第一歩!古本の回収にご協力をお願いします!(櫻井満理奈)



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは「未来にわたり住みたいまち」づくりを目指し、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組む当社グループの社会貢献活動です。

阪急阪神 ゆめ・まち

検索

「ステナイ生活」、始めませんか？

不用になった生活用品を送って社会貢献につなげる…「ステナイ生活」という取組みがある。ゴミだと思っていたものが誰かのために役立つなんて！「ステナイ生活」は、不用品を誰かへの贈り物に変えてくれるのだ。

「捨てること」が当たり前前の社会を、いま見直したい。

引越いや片付けで不用なものが出てきたら、捨てるのではなく社会貢献に活かしてはいかがだろうか。国際協力NGOの「シャプラニール」市民による海外協力の会「ステナイ生活」のプロジェクトを2001年から行っている。「日本はいらぬものを捨てるのが当たり前ですが、ゴミにするか活かすかでは大違い。海外協力につながることをぜひ知ってほしいですね。切手1枚でもいいので送ってください」と語るのは上嶋佑紀さん。使用済みの切手も1

一人ひとりの「もったいない」が社会のために。

集まったお金は、南アジアで子ども就学支援教室などに使われている。「子どもは教育を受ける権利があるのに、バングラデシュではそう理解されておらず、児童、労働が横行しているのが現状。成人識字率も56.8%と低く、もつと読み書きができれば職業の選択肢も広がる」と上嶋さん。識字率の低い国では、父親が文字を、

読めずに薬を間違えて飲んで亡くなり、「字が読めればお父さんは死ななかつた」と悲しい胸の内を語る子もいるそうだ。国際協力の

「ステナイ生活」は分かち合う幸せを感じる暮らし。

今回訪ねたシャプラニールの事務所では、ボランティアの方々を送られてきたものを丁寧に仕分けしていた。この活動を通して「簡単にものを捨てなくなった」「本当に必要な良いものだけを選んで買うようになった」と自身の生活の変化を実感している人も。また、ものと一緒に手紙が同封されていることも多く、上嶋さんは「誰かの役に立つのがうれ

キロ集まれば1500円くらいで売れるという。集めているのは多種多様な日用品。その種類は同団体のウェブサイトに掲載しており、基本的に日本で換金して、バングラデシュやネパールなど南アジアでの支援活動に充てている。個人はもろろん企業や学校など、趣旨に賛同する人は年々増え、2005年には1079件だった実績が2013年には7784件に。金額も約570万円から2400万円へと大きく伸びている。



単行本やコミック
10冊(400円相当)
家事使用人として働く少女達が読み書きを学ぶ
「授業1回分」

そのほかに集めているもの
書き損じはがき、テレホンカード、貴金属、金券、外貨紙幣、トレーディングカード、使用済みディズニーリゾートパスポート、使用済みトナー・インクカートリッジ、家電、楽器など



DVD5枚(2,000円相当)
サイクロン被災地で被災の様子や防災の大切さを伝える
「フィルム上映会2回分」

使用済み切手2kg
(3,000円相当)
先住民族の子ども達が通う就学支援教室の
「家賃4か月分」



郵政はがき1枚
(45円相当)
子ども達が使う
「ペン3本分」

3ステップ、「ステナイ生活」の始めかた

step 1 集める



不用品を捨てる前にちょっと待って。寄付できるモノがあるかも。いったん分別しよう。

step 2 調べる



手元にある不用品を、どこかに送れないか調べてみよう。市役所などの行政機関に問い合わせても。

step 3 寄付になる



海外協力や震災支援など、団体ごとに活動内容は色々。どんな社会貢献に関わりたいか考えてみよう。



シャプラニール事務局長の小松豊明さん(右)と「ステナイ生活」担当の上嶋佑紀さん。

特定非営利活動法人シャプラニール=市民による海外協力の会
1972年から、南アジアを中心に活動している国際協力NGO。南アジアの児童労働の改善支援のほか、東日本大震災の被災地支援も。「ステナイ生活」は資金調達の一環として始めたプロジェクト。
〒169-8611 東京都新宿区西早稲田2-3-1 早稲田奉仕園内
TEL: 03-3202-7863 E-mail: info@shaplaneer.org
URL: http://www.shaplaneer.org/

ゴミだと思って捨てる前に。こんなモノも、あんなモノも誰かの役に立つんです。

お米やレトルトなど食品

つい余らせてしまうお米、賞味期限が近い缶詰やレトルト…“余った食品”を引き取り、必要とする人々に無償で届ける団体がある。自宅の冷蔵庫や食料庫に、少量でも未開封で賞味期限内のものはないだろうか。

認定NPO法人 フードバンク関西
TEL: 0797-34-8330
URL: http://foodbankkansai.org/



古着、買ったのに着ていない服

クローゼットに眠る衣類を、まだ使えるのに捨てていないだろうか。世界の人々へ「愛の救援衣料」を配付している団体へ送ろう。ただし新品もしくは洗濯済みのものを。

認定NPO法人 日本救援衣料センター
TEL: 06-6271-4021
URL: http://www.jrcc.or.jp/

余った外国の貨幣

海外から帰った時、手元に残ったコインや紙幣。ユニセフに送れば、世界の子ども達のために役立ててくれる。また主要国際空港には専用の募金箱が設置されている。



公益財団法人 日本ユニセフ協会
TEL: 0120-88-1052
URL: http://www.unicef.or.jp/cooperate/coop_coin.html

次ページでは、職場でできる「ステナイ生活」をご紹介します



阪急電鉄 岡田 和博さん

武庫山わんぱく会/宝塚市

地域の父親達を中心となって、畑づくりやアウトドア活動を推進。自然と親しむ心を育て、市民同士の親睦を図ります。

土や自然とふれ合い、すくすくと育ててほしい。

子ども達がアウトドアを体験できるよう、様々な機会を創出しています。例えば、畑づくり。兵庫県に土地を借りて開墾するところから始め、今ではサツマイモ、キュウリ、ナスなど…たくさん収穫。支援金によって色々な苗を購入し、育てる楽しみが広がりました。またキャンプや遠足、季節の行事など親子で参加できるイベントも積極的に企画しています。最初は義務感で参加した私でしたが、子ども達の笑顔が何よりのモチベーションに。地域のさまざまな年代の方と知り合うきっかけとなりました。



下坂部ボーイズ /尼崎市

努力が実り、リーグ・市・阪神・県の各大会で優勝!

野球を通じて健全な心身を育成しています。財政が厳しい中、支援金で用具を購入できました。

阪神電気鉄道 山口 豊和さん

マハロ・アイランダーズ /猪名川町

支援金で新たな楽器を購入でき、演奏活動の励みに

猪名川町周辺の高齢者施設や子ども会などで、ハワイアンバンドの演奏会を行っています。

阪急電鉄OB 熊木 啓祐さん



日本ボーイスカウト神戸第37団/神戸市

次世代を担う青少年の可能性を伸ばしたい

キャンプなどの野外活動を通じ、責任感を学べるように…。支援金で活動が充実しました。

阪急電鉄 和田 等さん

中山少年野球団 /宝塚市
軟式野球で心と体を鍛錬し、仲間の親睦を深める

冬の間、凍ってしまう小学校のグラウンドが練習場。支援金で凍結防止策を講じ、もう安心!

ニッポンレンタカー-阪急 野田 浩臣さん



立花ジュニア/尼崎市

大会費、道具代…資金不足解消でチームが活性化
健全な心身の成長と、部員間の親睦を深めることを目的とした少年野球チームです。

阪急阪神ビルマネジメント 鷹尾 賢司さん

グループ従業員の ボランティア活動レポート

2015 vol.1

従業員・OBの皆さまの参加するボランティア団体に、会社が3万円を支援する「ゆめ・まち ええこと応援団」。昨年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。

「ゆめ・まち ええこと」応援団

2015年度応募受付中! 2015年5月29日(金) 締切

グループ従業員・OBの皆さまが携わる地域の「ええこと(=ボランティア)」を支援することで、「未来にわたり住みたいまち」づくりを応援します。

従業員・OBが活動する ボランティア団体を3万円まで支援!

「地域環境づくり」 「次世代の育成」の活動資金に!

※1団体あたり3万円上限(総額100万円まで、応募多数時は抽選)※事務局による審査を経て、7月上旬までに結果をご連絡します。
※団体ご代表と当社グループ従業員・OB連名で申請書に記入・捺印のうえ、ゆめ・まちプロジェクト事務局まで原本をご送付ください。

申請書のダウンロード・詳細はwebで <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/point.html>

(「ユーザー名」、「パスワード」は8984)

ご自宅に眠っている“もったいない”本で

「ステナイ生活」始めませんか?



古本回収

4/17日(金)~5/18(月)

各所設置の回収箱に入れるか、直接プロジェクト事務局にご送付ください。

- 阪急電鉄 本社ビル 2F 食堂ほか
 - 阪神電気鉄道 本社ビル 10F 食堂ほか
 - 阪急交通社 ハービスOSAKA 14F メールセンター前ほか
 - 阪急阪神エクスプレス KHD東京ビル 9F カフェスペースほか
 - 阪急阪神ホテルズ 第一ホテル東京、大阪新阪急ホテルほか
- その他の回収場所は、下記の従業員向けHPをご覧ください。

※有害図書はご遠慮ください。回収対象の詳細は下図ご参照。状態の良い書籍が喜ばれます。

ポイント申請

古本提供 / 古本市での書籍購入にご参加いただくと、5ポイント
※期間中、申請は1回限り(期限:6月末日)
※申請書は下記従業員向けHPからダウンロードできます。
<http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/group.html>
(「ユーザー名」、「パスワード」は8984)

お問合せ

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局 (阪急阪神ホールディングス株) 人事総務室 総務部 社会貢献担当
TEL 06-6373-5086
E-Mail shakai@hankyu-hanshin.co.jp

コミックもOK (雑誌は除く)

1冊1冊 古本大回収 ゆめ・まち古本チャリティ

グループ従業員の皆さまから古本を回収し、国際協力NGO シャプラニール=市民による海外協力の会の「ステナイ生活」に寄贈するチャリティイベントです。寄贈した本は換金され、東日本大震災被災地でのこどもや地域住民の交流の場づくりや、家事使用人として働くバングラデシュの少女の識字・生活改善支援などに使われます。

チャリティ古本市

古本1冊=100円のご寄付をお願いします。

一部の事業所では、集めた古本を使って寄付を募るチャリティ古本市も。

5/27(水)

阪急電鉄 本社ビル 1Fエコルテホール

6/1(月)

阪神電気鉄道 本社ビル 10Fホール

両日とも11:30~13:30 / 17:30~19:00

※古本市の寄付は全額シャプラニールに贈ります。

“もったいない”の3 step で笑顔の花を咲かせよう



series 51 **こども達の「助けて」を受けとめる地域の保健室でありたい。**

児童虐待や貧困家庭が大きな社会問題となっている昨今、一番の被害者はこども達である。自分では状況を変えることが難しいこどもに、近くにいるからこそできることを…この課題に挑み、多彩な支援を展開しているのが、西淀川子どもセンターだ。めざすのは、地域に根ざしたこども支援。こども達が、悩みなども気軽に話せて、安心できる相談室を運営している。また、各種セミナーやイベント、バザーなどを通じ、共に課題に取り組んでくれる地域の人々とのネットワークづくりも行う。設立から7年、かつてサポートしたこどもがボランティアとして活動するなど、確かな手ごたえにつながっている。



SOSを
キャッチしたい。

夜ひとりのこども達とボランティアが夕食の時間を一緒に過ごす「夜間サテライト事業」や、こどもへの暴力防止プログラム「CAP」も展開。



NPO法人 西淀川子どもセンター

TEL : 06-6475-1372
E-mail : popi-nishiyodo@clear.ocn.ne.jp
URL : http://www11.ocn.ne.jp/~popins08/

笑ってほしい。

安心して



series 52 **DVに傷ついた女性とこどもの人生に幸せを。**

DV(ドメスティックバイオレンス)は、夫婦・恋人など親密な関係のカップル間でふるわれる暴力。「既婚女性の約3人に1人がDVを経験し、約20人に1人が生命の危機を感じた」という内閣府の調査結果もある。暴力を目撃してしまうこどもの心にも深刻な影響を与える問題だ。1992年から女性の人権をテーマに活動するウィメンズネット・こうべは、被害者となった母子の相談窓口となり、必要に応じてシェルターで保護したり、自立や生活再建を支援したり…さまざまなサポートを続けてきた。シェルターに保護することで生命を守った母子はこれまでに200組にのぼる。また、DV防止のための啓発活動も。対象は大人に限らず、中・高・大学生に向けたDV防止授業も行い、暴力のない未来の実現をめざしている。

電話・面接での相談に加え、孤立してしまった母子の心身のケアや仲間づくりを支援する施設「WACCA(わか)」の運営も。



NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ

TEL : 078-734-1308
E-mail : womens-net-kobe@nifty.com
URL : http://wn-kobe.or.jp

series 49 **本物の「体験」で広げたい。こどもの無限の可能性。**

いつの時代も「本物」は人を惹きつけ、豊かな心の育成に一役買ってきた。それは、ネットの普及した現代でも変わらない。池田市を拠点に活動する関西KIDSコミュニティ協会は、本物にふれたり、自ら手を使ってつくる体験によって、こども達の“生きる力”を育む団体である。例えば、星空を見ることで自然環境について考えたり、実験や工作の失敗から何度でもやり直す粘り強さや達成感を知ったり、キャンプで社会性を身につけたり…。さまざまな「体験」からこども達が学ぶものは、計り知れない輝きを秘めている。

一泊星空観測会、考古学キャンプ、科学の実験講座、親子で楽しむコンサートや人形劇など、多様なイベントを開催。



特定非営利活動法人 関西KIDSコミュニティ協会

TEL : 072-752-6601
E-mail : kansai.kids.c.a@osaka.zaq.jp
URL : http://www.my-friend.jp/gojibun/

series 50 **郷土の“お宝”を発見して発信する温故知新なまちおこし。**

“灯台もと暗し”ということわざもあるように、自分の住む地域のことは案外知らないもの。まずは地元を見直してみよう…そんな思いから設立された団体が、川西再発見。天然記念物のエドヒガン桜群落、日本一の里山といわれる黒川地区、ゆったりと流れる猪名川、源氏ゆかりの寺社仏閣…。川西市の“お宝”を再発見して、ハイキングや勉強会、出前講座など色々な形で市民に伝えている。「あらためて郷土の良さを知った」と住民の意識が変わると同時に、観光客誘致にも一役買っているという。新しく名物や名所をつくらなくても、温故知新というまちおこしの形もあるのだ。

川西をテーマにした写真展、川西の魅力を発信するDVDや写真集制作など、強い発信力で活動。

特定非営利活動法人 川西再発見

TEL : 072-774-7560(高橋)
E-mail : goku215@pc.zaq.jp(高橋)



天然記念物で
一句。

